

いそべとしえ

県政レポート



木々の色づくに秋の深まりを感じる頃となりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

この夏、記録的な猛暑の中、事務所まで足を運んでいただいたり、ご意見のあった現場を確認するために伺った先でも汗びっしょりになりながらも懸命にお話をさせていただく方々の熱意に耳を傾けていると、すっかり暑さを忘れていました。現場第一と考えている私としては、大変貴重なお話を聞くことができ、感謝の日々でした。

お陰様で、9月議会の質問にも取り入れられ、委員会での発言に繋ぐことができました。その後の改善と実行に向けてしっかりと動向を確認していきたいと考えているところです。

これからも、皆様方からの様々なご意見をお待ちしています。遠慮なくお声掛けください。

朝晩は冷え込みますので、くれぐれもご自愛くださいませ。

市民の声

私たちの路線バスはどうなるの？



1 現状

現在、光市内には6路線のバスが運行しておりますが、来年3月末をもって「JRバス光線」「ひかりぐるりんバス」の運行が廃止となります。

どこを走っているのかまずは下の路線図をご覧ください。



光市内 公共交通路線図

©2023年3月31日時点



令和5年度 9月補正予算

一般会計補正予算 総額	139億円
豪雨災害復旧対策	137億円
その他	2億円

◆予算編成の考え方◆

*7月の梅雨前線豪雨により被害を受けた道路や河川などの復旧事業、住家被害等を受けた被災者に対する見舞金等の災害復旧対策に要する経費のほか、6月補正予算後の状況変化に対応するため、所要の予算措置を講じる。

*現在、国において検討されている物価高・経済対策への対応は、その内容や物価高の推移、経済情勢等を十分に注視し、県として必要な追加の支援策を機動的に措置していく。

(12月補正予定)

STEP 01

令和5年 梅雨前線豪雨災害復旧対策の概要

1 災害復旧事業

(単位 千円)

区分	補正額	説明
(1) 補助災害復旧事業	9,592,381	◆農林水産関係 780,381 ・農地(土砂流入)美祢市東厚保 ・農業用施設[水路](崩壊)下関市豊浦町 ・治山施設(山腹崩壊)山口市下小鯖 ◆土木関係 8,812,000 ・県道中ノ川於福停車場線(法面崩壊)美祢市於福町 ・栗野川(堤防決壊)下関市豊北町 ・山田川(護岸崩壊)下関市豊田町
(2) 単独災害復旧事業	451,000	◆土木関係 451,000
計	10,043,381	

2 災害関連事業

(単位 千円)

区分	補正額	説明
(1) 国庫補助事業	555,000	災害関連地域防災がけ崩れ対策
(2) 単独事業	2,053,663	治山施設機能強化、河川改修、砂防改良、自然災害防止
計	2,608,663	

3 被災者支援事業

(単位 千円)

区分	補正額	説明
(1) 被災者救済	111,500	・災害救助費 ・災害弔慰金・災害障害見舞金補助(国制度) ・災害見舞金支給事業(県制度)
(2) 生活再建支援	35,250	・被災者生活再建支援(国適用対象外市町分)
(3) 金融対策	100,000	・災害援護資金貸付金 ・生活福祉資金貸付金 ・母子父子寡婦福祉資金 ※利子補給について債務負担行為を設定
(4) その他	752,162	社会福祉施設、県指定文化財への復旧支援、土木施設維持管理事業
計	998,912	

合計(1+2+3)	13,650,956	
-----------	------------	--

光市大字室積村字鮎尾地区の復旧状況



被災直後



復旧状況

STEP 02

その他の補正項目

◇ ビジットやまぐち推進事業 (16,437千円)

台湾からのインバウンド需要の拡大に向けた取組を講じることとし、所要の経費を追加計上

◇ 山口宇部空港国際線誘致推進事業 (14,590千円)

7月に台南市と締結した「観光・物産、経済等に関する交流・協力に関する覚書」を機に、チャーター便就航に向けた観光プロモーション等を早期かつ強力に実施

◇ 賃上げ環境整備応援事業 (226,944千円)

賃金の引上げと同時に柔軟な働き方に資する制度等を新たに導入する中小企業等の支援に係る予算額を増額



インバウンド向け観光ウェブサイトを

一般質問

この度の9月定例会において、3回目の一般質問に登壇させていただきました。

質問内容と回答を要約してお知らせいたします



01 地域公共交通の確保について

今年度から、A I デマンド交通や自動運転など、市町が行うデジタル技術を活用した新たなモビリティサービスの導入を支援しており、希望があった9つの市に対し、検討から導入段階までの間、ノウハウを有する専門家を派遣し、実装を見据えた助言等を行っています。また、地域交通の課題解決に資する先進的な取組を広く県内に波及させていくため、市町や交通事業者等を対象に、自動運転に関するセミナーや体験試乗会なども開催することとしています。

02 子供を産み育てる環境づくりについて

市町が行う産前産後ケアの充実に向け、身近な場所で妊娠・出産・育児の相談に対応する、「まちかどネウボラ（相談できる場所）」の設置を進めています。現在の87か所を令和6年度までに100か所まで増やすことで利便性を高め、より身近な場所で相談できる環境づくりを進めています。保育ニーズが拡大する中、子育て家庭が安心して保育サービスを利用できるよう、保育士の確保に取り組んでいます。

※ネボウラ：フィンランドで行われている子育て支援の制度の一つのネーミングで『相談の場所』という意味があります。

03 予防・健康づくりの充実について

介護サービス事業者への支援については、人材確保に向け、訪問介護員の養成研修等の受講料補助を行うとともに、小規模事業所等を対象とした職員の資質向上研修を引き続き実施してまいります。次に、健康寿命の延伸には、県では、スマートフォンを利用した「やまぐち健幸アプリ」や、「やまぐち健康経営企業認定制度」の普及等に取り組んでいます。健康寿命の延伸に向けて、今後とも、市町や関係団体、企業と連携し、県民の生涯を通じた健康づくりの推進に積極的に取り組んでまいります。

04 移住・定住に向けた空き家の有効活用について

各市町の移住者向け物件情報を掲載している空き家バンクの情報を集約し、広く広報するほか、移住相談窓口である「やまぐち暮らし支援センター」において、移住希望者のライフスタイル等に合わせた物件を紹介するなど、きめ細やかな対応を行っています。

05 農林水産業を守るための森林整備について

県土の7割を占めるこのかけがえのない森林を、未来維新プランに基づき、森林の整備に向けた様々な取組を計画的に進めていくこととしています。やまぐち森林づくり県民税を活用し、奥山等の荒廃した森林を対象に、間伐の実施による森林機能の回復や、繁茂拡大した竹の伐採による健全な森林の再生などに取り組むこととしています。

さらに、林業従事者が減少する中、将来にわたる担い手の確保・育成や林業現場の生産性向上を図るため、半年間に及ぶ新規就業者研修や森林組合等が実施する職場内訓練・実地研修への支援を行うほか、異業種の新規参入を促進する実践研修等も実施することとしています。

